

「リスク共生から見た地盤工学上の課題」

横浜国立大学 先端科学高等研究院(IAS)

「社会インフラストラクチャの安全」研究ユニット 藤野陽三

横浜国立大学に2014年10月に新たに設立された先端科学高等研究院では「リスク共生学の構築」を課題の一つに設定しています。横浜国立大学だけでなく外の組織とも協力しながら、多分野にわたる「リスク共生学」のフレーム作りを考えていく予定です。

このたび、ケンブリッジ大学の曾我健一教授が先端科学高等研究院上席特別招聘教授に就任されたのを機会に、曾我教授の専門分野である地盤工学におけるリスク共生をさまざまな角度から議論するシンポジウムを企画しました。

日時:
2015年7月16日(木)
午後1時-6時

場所:横浜国立大学
教育文化ホール

主催:横浜国立大学
先端科学高等研究院

後援:地盤工学会

司会 藤野陽三(横国大)

開会挨拶 長谷部 勇一 (横浜国立大学長/IAS高等研究院長)

IASの紹介 藤江幸一 (横浜国立大学 IAS副高等研究院長)

基調講演 曾我健一 (ケンブリッジ大学, 横浜国立大学) (40分)

地盤工学の新たな課題とモニタリングの重要性

講演1 各25分(質疑含む)

風間基樹(東北大)

造成宅地地盤の地震災害リスク

勝見 武(京大)

地盤環境リスクと発生土問題への対応

休憩 10分

司会 小長井一男(横国大)

古関潤一(東大)

鉄道土構造物の地震時挙動と液状化リスク

高橋章浩(東工大)

河川堤防の整備におけるリスク

早野公敏(横国大)

交通地盤工学におけるリスク低減

休憩 10分

講演2 各15分

石原研而(東大名誉教授) 次の次の大地震に備えて

大西有三(京大名誉教授) 福島原発の汚染水対策でのリスク評価や低減対策

龍岡文夫(東大名誉教授) 土構造物の耐震設計の意義・方法・経緯

嘉門雅史(京大名誉教授) 地盤工学におけるリスク共生のためのPRの役割

日下部治(東工大名誉教授) 自然災害安全性指標(GNS)の開発の試み

全体討議 20分

開会挨拶 森下 信 理事・副学長 午後6時ごろ終了

交流会 大学会館3階レストラン「ポルティ」 会費3000円

【申し込み方法】 参加を希望の方は電子メールにて件名を IASシンポジウム「リスク共生から見た地盤工学上の課題」申し込みとして、氏名、所属、交流会への参加の有無を ias-infra@ynu.ac.jp に6月末までにお送り下さい。

【連絡先】 藤野陽三: fujino@ynu.ac.jp 電話:045-339-4468 FAX:045-339-4286

横浜国立大学 先端科学高等研究院

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

先端科学高等研究院棟(建物番号S7-4) 102室、103室(オフィス)

Phone: (045) 339-4454 Fax: (045) 339-4456 E-mail: ias@ynu.ac.jp

Facebook: 横浜国立大学先端科学高等研究院 Institute of Advanced Sciences Yokohama National University

